

平成30年度 決算 まちの 財政状況

平成30年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の歳入（収入）と歳出（支出）の状況をお知らせします。

まちのお金は 3つの会計で管理

まちのお金は一般会計、特別会計、水道事業会計の3つに大別されています。

一般会計は、福祉や保健衛生、産業、道路、教育など、全町民を対象とした事業のためのお金です。特別会計は、国民健康保険や公営下水道、簡易水道、介護保険、後期高齢者医療それぞれの事業を行うためのお金です。

水道事業会計は、独立採算制の地方公営企業として水道事業を行うためのお金です。

平成30年度の決算

平成30年度の一般会計の決算は、歳入総額112億9557万円、歳出総額111億3636万円になりました。

歳入歳出の差引額は1億5921万円となり、このうち翌年度へ繰り越す事業の財源が141万円です。実質、1億5780万円の黒字となりました。

歳入（収入）の内訳

歳入の内訳は、町税が9億5829万円、29万円、全体の8.5%を占めています。

地方交付税は32億2605万円、全体の28.6%を占め、歳入のトップとなっています。

寄附金は32億1696万円、全体の28.5%を占めています。寄附金のうち、ふるさと納税によるものは32億1270万円でした。

自主財源と依存財源

自主財源とは、皆さんが納めた税金や使用料、寄附金など、町が自主的に収入することができる財源です。

112億9,557万円

一般会計
歳入

